

視覚障害

その研究と情報

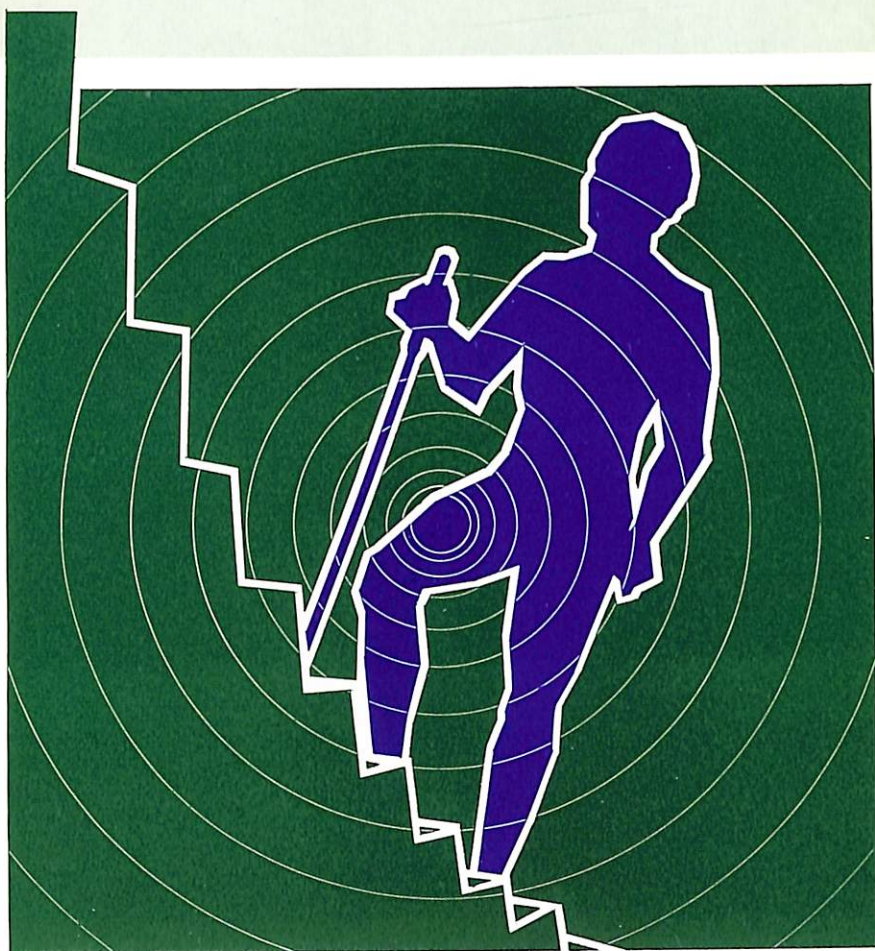
SSK 1983年 9 月 No.67

I S S N 0385-7476

特集／

ボランティア・ウィズ・ザ・ブラインド

9



新 刊

ここに生きる

働く盲人の記録

新書版 300 ページ 定価 1,000 円

12人の働く盲人の生きざまが あなたの感
動を呼ぶ

講読申し込みは 日本盲人福祉研究会へ

標準点字表記辞典

発売元： 博文館新社 1,500円

全国有名書店で発売中

福島智君とともに



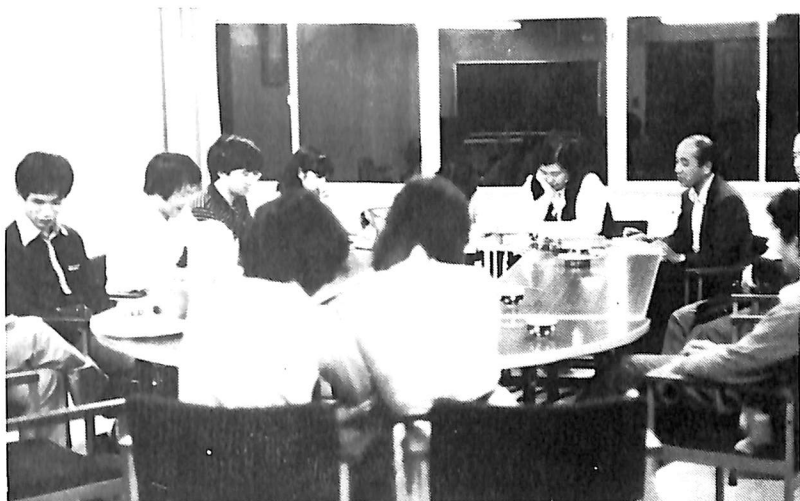
福島智さん（右）。現在、東京都立大学人文学部1年生。日本で初めての全盲ろう大学生である。

「指点字」は、お母さんが開発した独特のコミュニケーション手段だ。左右3本ずつ、6本の指を点字タイプライターのキーに見立てて、その上に点字記号をたたく。すぐれた通訳者だと、ふつうの会話をほぼそのまま伝えることができる。



朝起きて、夜寝るまで、すべての情報が指から入る。福島君への情報を保証するために、「福島智君とともに歩む会」は、12人のボランティアを用意、授業の通訳を含めて常時介護に当たっている。



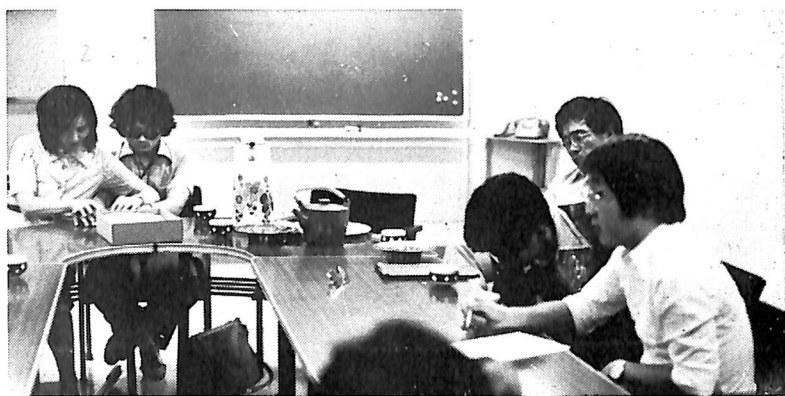


「福島智君とともに歩む会」は、定期的に会合を開いて、福島君の意見をもとに、通訳体制や介護のあり方など、綿密な計画を立てる。



授業では、ドイツ製点字速記タイプ“プリスタ”を使って通訳する。

「福島智君とともに歩む会」（代表・小島純郎千葉大学教授）では、福島君への情報提供を保証するために、カンパを呼びかけている。カンパの送り先は、（〒112）東京都文京区目白台 3-27-6 筑波大学附属盲学校内・塩谷気付「福島智君とともに歩む会」。振替番号（東京）5-93433。一口2000円。



文 塩谷 治
写真 当山 啓

目 次

1983年 9月 No.67

2 ページ評論	小島 純郎	2
特集 ボランティア・ウィズ・ザ・ブラインド		
智君とともに	井田 道子	5
仲間としての晴・盲一体化	大西 正広	11
視覚障害者と一緒に山へ登ろう	松本 克彦	17
「かわいそう」「利用してやろう」の関係を断つ	青葉 絃宇	24
「ために」から「ともに」へ	藤野 克己	30
この人 身障者の雇用拡大に意欲を燃やす吉泉さん		37
中世・近世の盲人像 第5回	谷合 侑	40
トリーノ市（イタリア）で自動点訳、点字印刷装置が完成		52
インフォメーション・コーナー		54
編集後記		60

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

本号では、視覚障害者とボランティアの関わり合いについて特集しました。単に、点訳奉仕者とか朗読奉仕者といった、いわゆる盲人のために奉仕することに飽き足らず、最近では、盲人と“ともに”考え、行動しようという人たちが増えているようです。盲人側にもかつての受け身の態度でなく、ボランティアとともに積極的にさまざまな活動を展開していこうという傾向が生まれているようです。本号では、そうした考えを実践している方々に執筆していただきました。したがって、特集のタイトルも、“for the blind”ではなく、“with the blind”としました。こうした傾向を皆さまはどうお受けとめにな리ましょうか？

谷合先生の「中世・近世の盲人像」は、次号で最終回となります。谷合先生には点字版・テープ版の読み方についてご指導いただき、深く感謝申し上げます。先生は読者の反響をお知りになりたがっておられます。ぜひご感想をお寄せ下さい。

中村祥子さんから特別寄稿をいただきました。短いものはどしどし掲載していきたいと思いますので、話題になるものがありましたらご投稿下さい。

(田中 徹二)

視 覚 障 害	1983年9月 No.67
年間購読料	2,500円(送料とも)
発行日	1983年9月1日
編集人	(連絡先)
日 本 盲 人 福 祉 研 究 会	
〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目	
日本点字図書館内 23番4号	
電話(03)200-1130	
振替口座 東京 6-16103	
発行人	身体障害者団体定期刊行物協会
〒157 東京都世田谷区砧8-21-3	
印刷所	合同印刷株式会社
〒130 東京都墨田区業平2-9-13	
電 話(624)6111(代表)	

協賛団体 日本点字図書館